

写真家 六田知弘展 「火・風ノ貌 KA・FU NO BO」

むだ・ともひろ
1956年奈良県生まれ。80年早稲田大学教育学部卒業。82年よりネパールヒマラヤ山中のシエルパの村に暮らして撮影。88年初個展「ひかりの素足―シエルパ」を開催。以降、「自然や宇宙との根源的なつながり」を過くに探りながら、モノ、人物、風景、建築、道、石など様々な事象を対象に撮影し、写真展や出版を通して発表。

神秘性とエネルギー

「宇宙を構成する五大原素―地水火風空」をテーマに、日本人の自然観、自然信仰を背景に撮影した作品をシリーズで発表してきた六田知弘。

「世界と融合したくて『入我我入』と経文を唱える。六田氏もきつと経文を唱えるように被写体と二体化するのだろうが、いったい彼は何のために写真を撮りつづけるのだろう。自受法楽……。仏教の用意する答えはこれしかない。入我我入を遂げた法身は、いつ、誰のために、どこでといった制約を一切離れ、自らの楽しみのために法を説き、写真を撮りつづけるのだ。なんとも深く、美しい『真』ではないか」(玄侑宗久 同展パンフレットより)

最終章となる今回は、「火・風」の神秘性とエネルギーに満ちあふれる世界を約30点の作品により展示する。

(編集部)

9月10日(土)～9月24日(土)

※会期中無休

加島美術

中央区京橋3-3-2

☎03(327)60700

©TOMOHIRO MUDA

